

# 令和5年度 第7回大和市下水道運営審議会会議録（抜粋）

【開催日時】 令和6年3月27日（水） 午後3時00分～午後5時44分

【開催場所】 市役所5階 第5会議室

【出席状況】 委員9名（欠席2名）：

石田裕会長、扇原博委員、橋本幸生委員、関水秀樹委員、  
塩沢雍子委員、小野佐枝子委員、長谷川幸江委員、大谷勝也委員、  
袴田史委員

市側6名：

環境施設農政部長、下水道経営課長、下水道・河川施設課長、水質管理センター所長 ほか担当職員2名

【公開・非公開の状況】 公開 非公開 一部非公開

【傍聴人】 1名

【審議又は検討の経過及び結果】

●会議次第：1 開会

2 議題

（1）大和市公共下水道事業計画の変更について

・市街化区域編入に伴う事業計画区域の拡大について事務局から報告

（2）下水道使用料の改定について

・答申案について審議会にて修正案を取りまとめた後、その修正案で決定することの決議を行った結果、出席委員の過半数の承諾を得た。

・修正した答申の確認は会長に一任し、会長の承諾を得た後、最終版を委員へ送付し、4月中に会長と職務代理者から市長へ答申することとした。

3 その他

●主な質疑内容の要約：

2 議題

（1）大和市公共下水道事業計画の変更について

（委員）

① 質疑：市街化区域の変更はいつ時点か。

（事務局）

① 答弁：令和6年3月末です。

（委員）

② 質疑：今回、拡大された区域には消防本部や学校があるが、今までの下水接続の状況は。

（事務局）

② 答弁：市街化区域と接している外郭には污水管が整備されていることから、既に下水道を使用しているところもあります。

(2) 下水道使用料の改定について

① 答申鑑文について

(委員)

ア 意見：事務局から出された資料における、令和7年度から令和9年度に必要なとなる汚水処理費に基づく改定単価は認められるものであり、改定の必要性は理解している。しかし、市民の負担感について度外視することはできないということ明記する。

(委員)

イ 意見：次ページの「1 答申にあたって」はこれまでの議論の内容が集約して記載されており、重視していただきたいことから、「附帯意見」だけでなく、「1 答申にあたって」も尊重するよう答申鑑文に追記する。

② 「1 答申にあたって」について

(委員)

ア 意見：現在、下水道事業会計が一般会計繰入金に依存していることについて、改善する必要があることを強調すべき。ただし「一般会計の財政状況が厳しく、繰入金によって他の施策に影響を与えかねない」ということについては、行政側の考えであることから削除する。

③ 「2 附帯意見」について

(委員)

ア 意見：水に関わる下水道は、市民生活にとって必要不可欠なことを念頭において検討することを追記したい。また、それは大前提の事柄であることから、附帯意見の(1)に記述する。

(委員)

イ 意見：今後の料金改定では、基本使用料について、市民の節水努力の成果が料金に反映されるようにすることと、安定的、持続的な収入とすることを検討する。

(委員)

ウ 意見：「市民への説明について」では、下水道の役割や重要性に係る関心が市民の中で薄れていると感じていることから、改めて「より一層の理解が得られるように努めること」を追記する。

(委員)

エ 意見：「市民への周知について」では、改築更新及び耐震化が必要であるのは、安全で安心な下水道サービスを提供し続けるためであることを周知する。